es4

エスフォー
EUROMOTIVE MAGAZINE

62

2016 MAY

刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

ER SPORT & EXOTICS
る頂点系モディファイド
8スペチアーレ／ランボルギーニ・ウラカンLP610-4
MG GT S／ポルシェ911カレラS／ポルシェ911ターボS

KSWAGEN & AUDI PRIORITY
レクスワーゲン&
ディ偏向主義
ーゲン・ゴルフVII GTI／アウディTT S
スポーツバック

DERFUL WHEEL
NG COLLECTION
せたい注目モデル

T EXPRESS
トメッセ
ートトレンド

[TOP ISSUE]

BMW Modified Performance
キレイ系BMWが魅力的!

BMW M3セダン／M4クーペ／523i Mスポーツ

[SPECIAL FEATURE]

WIDE BODY & FENDER ROCKETS!!
ワイドボディ&フェンダーで猛烈に!!
ラディカルボディカスタムの時代が再び到来した

フォルクスワーゲン・ゴルフVII R／フォルスクワーゲン・ゴルフV GTI／アウディA6アバント 2.8FSIクワトロ
メルセデス・ベンツCLK350カブリオレ／BMWアクティブハイブリッド3
BMW M6クーペ／アウディR8 5.2FSIクワトロ

N MOOK
2016年5月10日発行

【ワイドボディ＆フェンダーで猛烈に】

WIDE BODY & FENDER ROCKETS!!

E BODY & FENDER ROCKETS !!

らっと作れてインパクト絶大

>> GARAGE EVE.RYN OSAKA（ガレージエブリン大阪）[072] 339-1760
GE EVE.RYN SETAGAYA（ガレージエブリン世田谷）[03] 3707-3800 www.everyn.com
GY MOTOR SPORT（エナジーモータースポーツ）www.energy-ms.jp
AL THANX >> P.G.D（プラチナムグラフィックデザイン）[0547] 38-3416 http://pgd-wraps.com
>> RYOTA SATO（佐藤亮太）
>> AKIO SATO（佐藤アキオ）

ンパクト大なライン構成力により、1度目にしもう BMW のノーマルフォルムには物足りなさ感じられなくなってしまうエナジーモータース発の魔性のボディ“エナジーコンプリート”。F30 3シリーズには“EVO30.1”というエアディが用意されるが、EVO シリーズを代表するージでもあるオーバーフェンダーは、EVO30.1合、オプションパーツとして設定される。のオーバーフェンダー、前後＆サイドに配されアロボディにマッチするダイナミックなデザイのに、取り付けはボディに貼り付けるだけで OKライージーさがウリ。そのおかげで、大胆なオーフェンダーモデルにありがちな、純正フェンダーカットのオベを受けることなく、ボリューミーなボディシェイプを楽しめるってわけ。

これって実は、F30 3シリーズのオーナー心理が手に取るように分かってないとたどり着けないアイデアだ。だって、いくら他の F30 3シリーズと差を付けたいからって言っても、現行モデルの F30 3シリーズのボディを切っちゃうなんて冒険、強度の面からも、手放すときの査定の面からも、カンタンにはできないじゃないっスか（笑）。でも、このオプションさえあれば、そんな悩みも円満解決してしまう。目立てて差が付けられて、その気になれば元に戻せる。もう“神フェンダー”って言ってもいいくらいの全方位対応力を誇示だ！

デモカー（ベースはアクティブハイブリッド3）は車高調を使わず、エナジーモータースポーツのコイルだけで車高をダウン。手軽でコストをかけなくても、ご覧のようなタイトなフェンダークリアランスを演出できるのもありがたい。

そして、すべての F30 オーナーに告知したいのが、ボンネットの存在だ。ダクト入りカーボンボンネットをリリースしているブランドは少ないので、エナジーモータースポーツのコンプリートキットを付けていようがいまいが、触手を伸ばしたくなること必至のハズだ。BMW F30 をアグレッシブにイメチェンできるエアロとオーバーフェンダーのコラボレーション。こんなに使える武器、見逃す手はありませんゾ。

01 F30 用としては珍しい部類に入るダクト入りカーボンボンネットもエナジーモータースポーツ製。ラッピングでツートンとした奥ゆかしさも上品でいい。
02 ヘッドライトとテールレンズのスモーク化は、アクリル製カバー装着によるもの。形状も少し違うので、ディテールで差をつけたい方にオススメ。
03 左側にはエナジーインディビジュアルタイプ4のバフアルマイトフィニッシュ20インチをコーディネートし、ラッピングボディとの調和を図る。
04 後付け感がまるでないオーバーフェンダー。「後から購入して、クルマのイメージチェンジの材料とするパターンもアリです」と、ストアマネージャーの青木サンは話してくれた。
05 この F30 には、ダクトのパートを強調するためにカーボン加工が施されているが、市販品はボディ同色がデフォルトとなるそうだ。
06 前後バンパー、トランクスポイラー、マフラーなどを含めたエナジーモータースポーツ EVO30.1 の勇姿。足はコイル交換のみでこの低さに達する。

SPECIFICATIONS / BMW ACTIVE HYBRID 3 ENERGY COMPLETE EVO30.1 2013

WHEEL >>> ENERGY MOTOR SPORT >> Energy Individual Type 4 F:20×8.5J R:20×9.5J Finish:Brushed Silver Disk + Buff Alumite Rim (Left Side) , Energy Individual Type 3 F:20×8.5J R:20×9.5J Finish:Gross Black Disk + Gross Black Rim (Right Side)
TIRE >>> F:245/30R20 R:275/30R20
SUSPENSION >>> ENERGY MOTOR SPORT >> Sport Spring
EXHAUST >>> ENERGY MOTOR SPORT >> Energy MS Muffler Ver.9
EXTERIOR >>> ENERGY MOTOR SPORT >> EVO30.1 Body Kit Carbon Edition include Front Bumper Spoiler/Carbon Lip Spoiler/Side Spoiler/Rear Bumper Spoiler/Rear Diffuser, Carbon Bonnet, Front Over Fender, Rear Over Fender, Trunk Spoiler, Smoke Head Light Cover, Smoke Tail Lamp Cover, 4 Stations High-Luminosity LED Daylight, Chrome Wrapping + Laminating Film with Emboss Lettering Body, Black Wrapping Roof, Brushed Wrapping Door Handle

BMW ACTIVE HYBRID 3
ENERGY MOTORSPORT EVO30.1 BODY KI

OTHER INTERESTINGS

刺激的なユーロが東海地区を席巻中! 注目のプロダクトにクローズアップ

カスタム&チューニング文化が深く根付き、全国の中でもモディファイに敏感なオーナーが多いと言われている東海地区。それゆえに、東京オートサロン、大阪オートメッセに次いで出展社が多く、洗練されたデモカーが会場にずらりと並んだ。東海地区だけでなく全国を席巻しそうな最新ユーロプロダクトをピックアップしてお届け。

国内はもちろん、海外メディアからも注目されている「ガレージエブリン」。名古屋ではオリジナルボディキットを装着したi8、i3、3シリーズを展示して注目されていた。各車種に合わせて近未来感を演出し、他車との差別化を明確に打ち出すブランドだ。

ガレージエブリン

プロドライブ

スポークエンドのエクステンション、P-リンカー付きのGC-0100sとP-リンカーなしのGC-0100といった新作や大ヒットモデルのGC-05Nなどをディスプレーしていた「プロドライブ」。受注生産ホイールだけにプレミアム感がハンパレス!

バラマンディ

できたての新作ホイール、バヤラのF:18×10.5J、R:18×13.0Jをセットした993ターボSを展示。フロントは993GTエボのバンパーに交換され、ワンオフのドライカーボン製フロントスポイラーやリアディフューザー、カナードなどを装着。足回りはクァンタム車高調で、インテリアにはブリッドバケットシートやロールバー、モーテックのカラーディスプレーモニターが装備されている。新たにNEWデザインを5本を追加したばかりだが、今後さらにデザインバリエーションを豊富にし、ユーロ向けのサイズ追加も予定している。

ブロケード

新生ブランド「ブロケード」は新作ホイール5本をディスプレーしていた。右の3本はニュースクール系で、左の2本はオールドスクールタイプとしてデザインされている。18インチをすべてに設定し、デザインによっては19インチもラインナップしている。

エイムゲイン

東京オートサロンで大注目されていたアヴェンタドールを展示。フロント、サイド、リア、ウイングにエイムゲインGTのボディキットを装着して、ボルドワールド製エアサスでローダウンしている。今後はAMG GTS用のボディキット開発のウワサもあり!?

データシステム

便利なカーパーツを多数ラインナップしている「データシステム」は、コーディングタイプのTVキット「デタッチャブルTVキット」や市販のドライブレコーダーを防犯カメラ化することができる「センサースイッチコントローラー」を展示。

クロスエイト

アップルオートが製作したパーツや車両の販売代理店である大阪府のショップ、クロスエイト。展示されていたF30 328iはエイリアルのボディキットを装着し、RS CVワイヤーのF:20×9.5J、R:20×10.0Jを装着していた。ブリスターフェンダーはフロント片側4cm、リア片側7cmの出し幅で迫力満点。

ロエン

1年ほど前にリリースしたアウディA5は、これまでカタログにラインナップされていたが、カーショーで披露するのは今回が初。一方、BMW M4は東京オートサロンでデビューした最新作となる。今後はアヴェンタドール用バンパーの製作予定もあるとか。どんなデザインになるか楽しみだ。

ガレージ エウル

車両販売やオリジナルブランドによるコンプリートカー製作などを行っているガレージ エウルは、「エウルスポーツ」を装着したカイエンSとワイドボディ911(997)を展示していた。同ブランドでは、このほかにも911(993、996)やボクスターのボディキットもラインナップしている。

アーク

レクサーニの販売代理店である「アーク」はグリーンのアヴェンタドールクーペとブラックのアヴェンタドールロードスターを展示。クーペにM-102、ロードスターにLZ-753 MATISSEを装着していた。ともにフロント20インチ、リア21インチをセットしている。

CLS

東京オートサロンでお披露目したバトルワークスのLサイズ&LLサイズにカーボンバージョンが登場。ゴルフVのフロントにLサイズ、リアにLLサイズを装着していた。ルーフにディスプレーされたホイールは、代表梶谷サンの遊んで欲しいという思いから手頃な価格でリリースされているTC01。

1048style

エアリフトのエアサスでローダウンしたアウディTTロードスターを展示していたのは、トータルカープロデュースを行う「1048style」。ちょいフルモデルのTTにオリジナルのサイドステップやオーバーフェンダーを装着したスタイルを提案していた。ゴールドのホイールはワークのシーカー。

プリンシヴァル

複数メーカーのボディキットを加工して装着した「プリンシヴァル」のアウディA6。足元に装着されているホイールは、SSRエグゼキューターCV03のブラックアルマイト仕様で、フロント、リア通しの20×9.5J+38をセットしている。タイヤはニットーNEOテクGENの前後245/30R20。

フォルテ

フォージアートの正規代理店であるショップ「フォルテ」は、オーバーフェンダー加工されたC7コルベットとともに新作ホイールをディスプレーしていた。自社のワイドボディキットはフロントが片側12cm、リアが片側16cmの出幅。それに合わせた特注の2.01ECLもすごい迫力。